

★(様式A) 通常事業評価シート【R4年度実施事業(一部) / 農業委員会事務局による自己評価】

(単位:千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け(個別目標)	事業の目的(誰をどのようにするか)	事業の手段(今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に近づいたか	今後の方向性	事業費(決算見込額)	人件費(参考値)	コスト合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	農業委員会事業	活発な経済活動が行われている	食料の安定供給の確保のため、地域と調和した農地の権利取得を促進し、農地の利用関係を調整する	農地の権利取得、農地の転用等を審査し適正な処理を行った。また大阪府農業会議で意見聴取が必要な場合も、必要な手続きを経て適正な処理を行った。	4:大いに近づいた	継続	9,792	-	9,792	農地法が改正されて農地取得要件が緩和されたため、転用目的の農地取得を未然に防止する必要がある。	農地取得予定者が継続して営農できる能力があるかを見極める必要がある。	
2	農地利用最適化等推進事業	活発な経済活動が行われている	農地利用の効率化と農業の発展のため、遊休農地の把握と、それを解消していく担い手の農業経営の安定化を支援する	遊休農地の発生防止と指導を行い、新規就農希望者には相談を行い、必要な指導を行った。	2:一定近づいた	継続	725	-	725	営農者の高齢化と後継者不足、農作物の価格低迷が農地利用の最適化の足枷になっている。	農地の集積集約、遊休農地の解消に向けて農業者、農業関係者を話し合いを進め、農林水産課に協力して令和6年度末を目途に地域計画の策定する。	